

感染症の登園基準

菜の花保育園

※伝染性の病気、又はその疑いがある場合は完治するまで休ませて下さい。

主治医の診断を受けて登園許可がおりてから登園してください。

	病名	潜伏期間	欠席期間	症状	登園できる基準
1	インフルエンザ (様疾患)	1~4日	感染後約10日	発熱、全身倦怠、筋肉痛、鼻カタル、咽頭痛、咳	発症した後5日を経過しかつ解熱後3日を経過するまで
2	百日咳	7~10日	感染後約3週間	発作性咳の長期反復、持続	特有の咳が消失したとき 又は抗菌薬による治療を終了するまで
3	麻疹 (はしか)	8~12日	発疹出現の前後4~5日	上気道のカタル、発熱、粘膜疹コプリック斑	解熱した後3日を経過するまで
4	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	16~18日	明らかな症状を示す7日前からその後9日続く	発熱、耳下腺、舌下腺、顎下腺の腫脹及び圧痛	耳下腺・顎下腺、舌下腺の腫れが発現してから5日を経過するまでかつ、全身状態が良好になるまで
5	風疹 (三日はしか)	16~18日	発疹出現の前後7日間	種々の発疹、軽熱、リンパ腺腫大	発疹が消失してから
6	水痘 (水ぼうそう)	14~16日	水疱発現前2~後6日	軽熱、被覆部に発疹 (発疹は赤い→水疱→乾燥かさぶた)	すべての発疹がかさぶたになったとき
7	咽頭結膜熱 (プール熱)	2~14日	潜伏期後半~発症後約5日間	発熱、全身症状、咽頭炎と結膜炎の合併症	解熱し、主要症状がなくなった後、2日を経過してから
8	流行性角結膜炎	2~14日	発病後約2週間	軽熱、頭痛、全身倦怠、結膜炎の炎症、眼瞼浮腫目やに	治癒するまで
9	急性出血性結膜炎	2日~3日	発病後4日	流涙、結膜充血、眼瞼浮腫	治癒するまで
10	ヘルパンギーナ	2~7日		高熱、咽頭痛、咽頭に水疱	解熱し、食事も十分できて元気になったとき
11	手足口病	3~6日	疱消滅まで	感冒様症状、手足口に赤斑→水疱	いつもの食事が食べられて、元気がよければ登園可能
12	伝染性紅斑 (りんご病)	4~14日	4~20日	顔面赤斑とくに頬部の赤斑性発疹	感染力はないので、元気がよければ登園可能
13	溶連菌感染症	2~5日	潜伏期後半~発症後約7日間	発熱、咽頭痛、扁桃腺炎、莓舌、全身に発疹、頸部リンパ節炎	有効治療を始めてから2~3日たって
14	乳児嘔吐下痢症 (ロタウイルスによるもの)	不定期		発熱、下痢、嘔吐	感染力が強いので下痢・嘔吐が完全に治り元気になったら登園可能
15	感染性胃腸炎 (ノロ、ロタ、アギノウイルス)	1~3日		発熱、腹痛、下痢	嘔吐、下痢がおさまり、いつもの食事が食べられて、主治医、園医が登園して差し支えないと認めたとき
16	マイコプラズマ肺炎 (うつる肺炎)	2~3週間		咳、発熱、呼吸困難 (重症の場合)	症状が改善し、元気があれば登園可能
17	突発性発疹	約10日		高熱、3日後に全身に発疹	解熱して、全身状態がよいこと
18	ヘルペス性菌口内炎	2日~2週間		口内炎	症状が改善し、元気があれば登園可能
19	とびひ (伝染性膿痂疹)	2日~10日	水疱消滅まで	主として豆つぶ大の水疱、自覚症状あまりなし	皮疹が乾燥して、他人への感染のおそれがないと医師が認めた時
20	伝染性軟属腫 (水いぼ)	2~7週			いぼからの浸出液を覆って登園
21	アタマジラミ	産卵からの最初の若虫が孵化するまで			駆除対策を開始して登園
22	腸管出血性大腸菌感染症 (O157など)	3日~6日			症状が治まり、かつ2回の便検査で陰性が確認されてから登園可能